

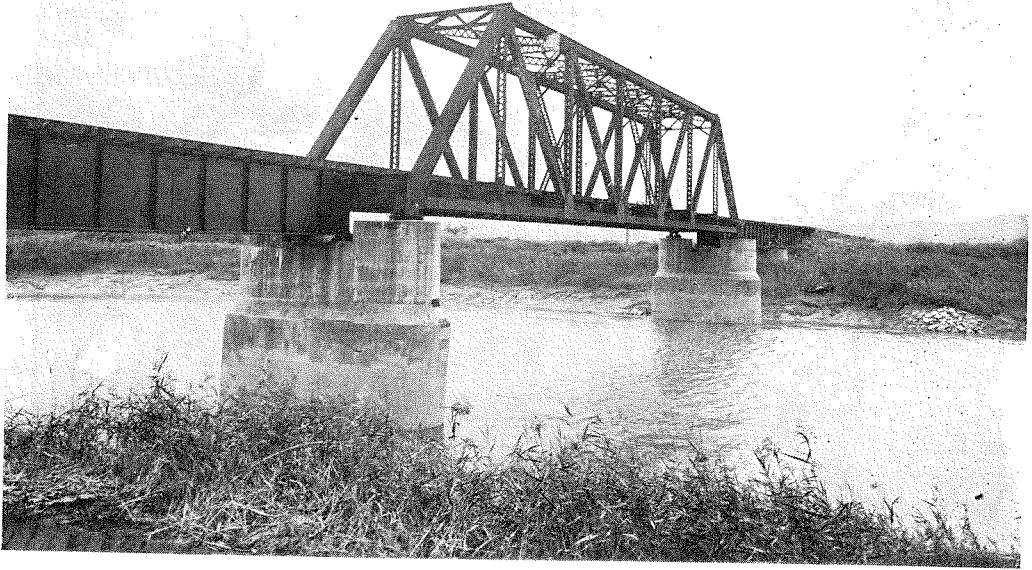
有明線の全通に就て

鐵道省熊本建設事務所長 淺 間 逸 雄

有明線は既設長崎本線肥前山口停車場より分岐し、鹿島を經て有明海に沿ひ多良、湯江の諸邑を通過し、既設諫早停車場に連絡する延長約10軒の線路にして、地方産業の開發を促し、在來長崎本線の早岐迂迴線路に比し約27軒を短縮する、所謂鹿兒島本線より長崎方面に通ずる捷經線とし、且線路の勾配を緩和するものにして、大正十一年第四十六議會の協賛を經、大正十二年四月十三日鐵道省告示第六十一號を以て當所々管に編入せられ、大正十三年四月愈々測量に着手し、同十五年二月肥前山口肥前鹿島間線路の確定を見、同年十二月始めて肥前山口方より順次工を起し、昭和九年十二月全線の竣成を告げ、茲に十三年餘の歲月を閲して全通を見るに至れり。

本線は概ね有明海に沿ひ、幾多の海岸線に

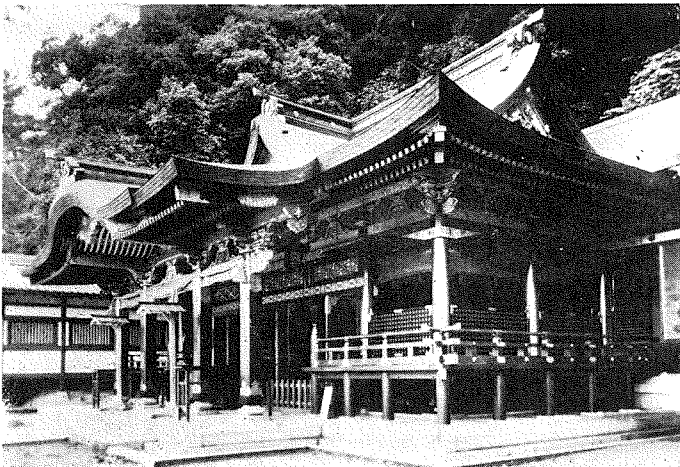
突出せる丘陵及入江を縫ひ馳驅するものにして、佐賀縣杵島郡江北村肥前山口停車場より分岐し、六角川橋梁(徑間162.03米)を渡り六角村を經て福治村に入り、大字福田に福治停車場を設け、福治村の秀津部落の西方を府縣道と併進し、北有明及南有明兩村の西端を掠め、錦江村を通過し廻里江川を渡り、龍王村大字城田に肥前龍王停車場を設置し、府縣道を横斷し同村室島の丘陵を迂迴し、鹽田川橋梁(徑間105.10米)を架し、府縣道と併進しつゝ藤津郡鹿島村を過ぎ、中川を渡り鹿島町に入り大字高津原に肥前鹿島停車場を設置し、東走して濱町に入り大字北舟津に肥前濱停車場を設け濱川を過ぎ、七浦村に入り府縣道を高架横斷し、右手に海岸線と曲折併進し、同村大字音成に肥前七浦停車場を設け、更に海岸



2、有明線六角川橋梁

に沼ひ南進し同村大字飯田に肥前飯田停車場を設置す更に進みて多良村に入り多良川橋梁を架し、大字多良に多良停車場を設け海岸線を縫ひ府縣道と參差して大浦村に入り隧道を設けること四ヶ所及破瀬浦橋梁（支間22.3米4連）廣江橋梁（支間9.8米を8連）を架し、大字

龜の浦に肥前大浦停車場を設置し、進みて長崎縣に入り北高來郡小長井村大字小川原浦に小長井停車場を設置す。尙之より府縣道に纏綿し隧道を穿つこと二ヶ所湯江村に入り大字湯江に湯江停車場を設置し、進みて小江村入り大字小江に小江停車場を設置し、深海村



3、祐徳稻荷神社 （沿線名所其一）

肥前濱澤の南方約2杆肥前鹿島驛の北方約3.5杆に在り、我國三大稻荷の隨一として參拜者多きこと九州第一と稱され又社殿壯嚴にして關西日光の稱がある。



4、有明線多良停車場。

に入り小丘に隧道を穿ち府縣道に併進して、
 深海川を渡り長田村に入り大字東長田に肥前
 長田停車場を大字西長田に東諫早停車場を設
 置し、小丘に隧道を穿ちて本明川を渡り、左
 轉して長崎縣北高來郡諫早町既設諫早停車場
 に連絡す。

勾配 最急16,1000
 路面幅 4.50米
 軌條面高 施工基面より40檜
 保安設備 第1種及第2種聯動裝置
 運轉方式 通票閉塞器式
 線路延長 60杆732米
 建設費總額 7,053,000圓

一、線路
 線路單線
 半徑 最小250米

一、支給品
 セメント 248,819袋

線路選定

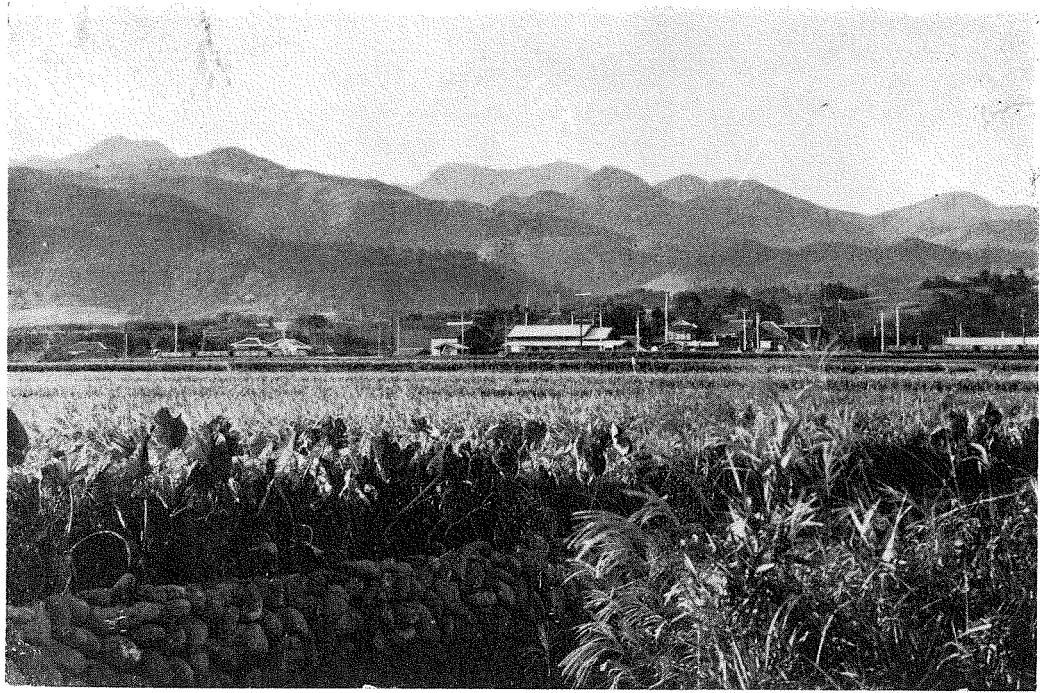
區間	延長		最小曲線 ノ半徑	最急勾配	豫算金額	一杆當金額	選定認可 年月日
	杆	米					
肥前山口 肥前鹿島 間	16	200	400M	1000分ノ10	1,976,357.000圓	121,979.000圓	大正15、2、17
肥前鹿島 多良 間	11	860	300M	1000分ノ10	1,794,517.000	151,119.000	昭和 2、12、16
諫早 湯江 間	12	970	250M	1000分ノ16	1,832,435.000	138,821.000	同 3、11、5
湯多 江良 間	18	862.67	250M	1000分ノ16	2,589,012.000	134,943.000	同 7、10、1



5、有明線小長井停車場附近。

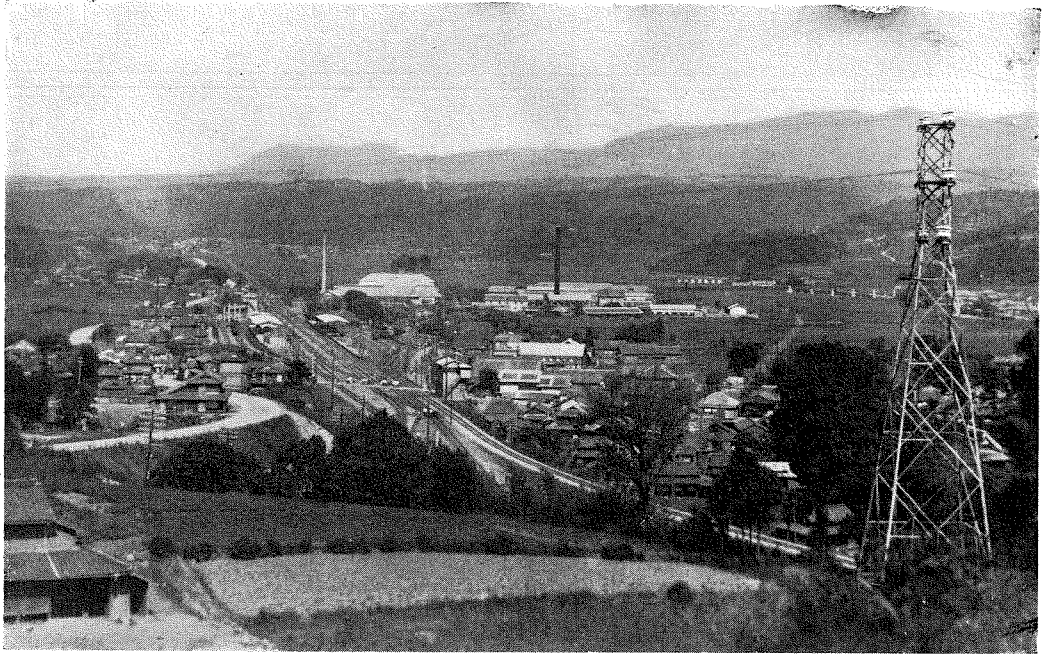
停車場

名稱	位置	所在地	本屋建平米
肥前山口 (既設)	(鹿兒島本線鳥栖起點) 39杆670米	佐賀縣杵島郡江北村大字山口	—
福治	44杆740米	同 縣同郡福治村大字福田	184.20
肥前龍王	49杆480米	同 縣同 郡龍王村大字坂田	79.20
肥前鹿島	54杆660米	同 縣藤津郡鹿島町大字高津原	229.56
肥前濱	57杆630米	同 縣同 郡濱町大字北舟津	214.00
肥前七浦	61杆520米	同 縣同 郡七浦村大字音成	85.20
肥前飯田	63杆680米	同 縣同 郡同村大字飯田	54.00
多良	67杆780米	同 縣同 郡多良村大字多良	126.50
肥前大浦	75杆700米	同 縣同 郡大浦村大字龜ノ浦	189.40
小長井	82杆380米	長崎縣北高來郡小長井村大字小川原浦	189.40
湯江	87杆650米	同 縣同 郡湯江村大字湯江	126.50
小江	90杆890米	同 縣同 郡小江村大字小江	92.30
肥前長田	95杆570米	同 縣同 郡長田村大字東長田	94.70
東諫早	97杆490米	同 縣同 郡同村大字西長田	45.10
諫早(既設)	100杆400米	同 縣同 郡諫早町大字永昌名	—



6、有明線湯江驛附近より見たる多良嶽の遠望。

工區別	區		間		距離		起工年月日	竣年月日	當初請負額	工事監督者	請負者氏名
	自	至	米	米	米	米					
第一工區	肥前山口起點						大正 15,12,25	昭和 5,2,15	303,000	枝手 和田 健治	溝口才太郎
	自	至	0 10	400 180	9	730					
第二工區	自	至	10 20	180 420	10	240	昭和 3,3,1	同 5,4,21	600,000	同 伊集院 久 是枝 昇志	同 人
	自	至	20 23	420 540	3	120	同 6,5,10	同 7,6,7	194,900	同 勝並 治八	同 人
第四工區	自	至	23 28	540 460	4	920	同 7,7,15	同 8,12,8	193,600	同 安部 俊治 佐野七五三吉	同 人
	第五工區 ノ甲	自	至	25 31	700 832.67	6	182.97	同 8,2,11	同 9,10,10	408,000	同 佐野七五三吉 田島 重朗
第五工區 ノ乙	自	至	18 25	750 700	6	950	同 8,3,14	同 9,10,13	325,000	同 曾我 芳松 山野井定次親貞 川上	森本 千吉
	自	至	12 18	970 750	5	780	同 7,12,16	同 9,8,15	397,000	同 曾我 芳松 吉見 威男 川上 親貞	同 人
第七工區	自	至	9 12	680 970	3	290	同 7,3,5	同 8,2,16	130,000	同 出田友次郎 前原 豊助	同 人
	自	至	5 9	000 680	4	680	同 6,5,2	同 7,8,20	177,600	同 出田友次郎	同 人
第九工區	自	至	0 5	200 000	4	700	同 4,3,3	同 5,9,2	286,000	同 田中 垣雄	同 人



7、有明線諫早停車場附近。

工事関係者

所	長	河原直文
同		柴田直道
同		釘宮磐磐
同		浅間逸雄

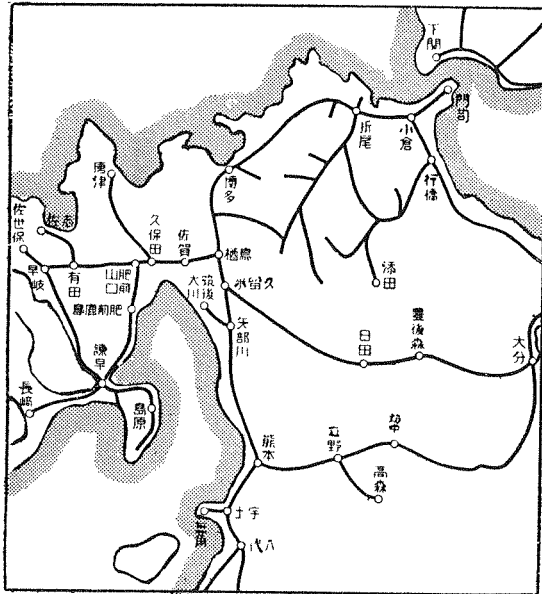
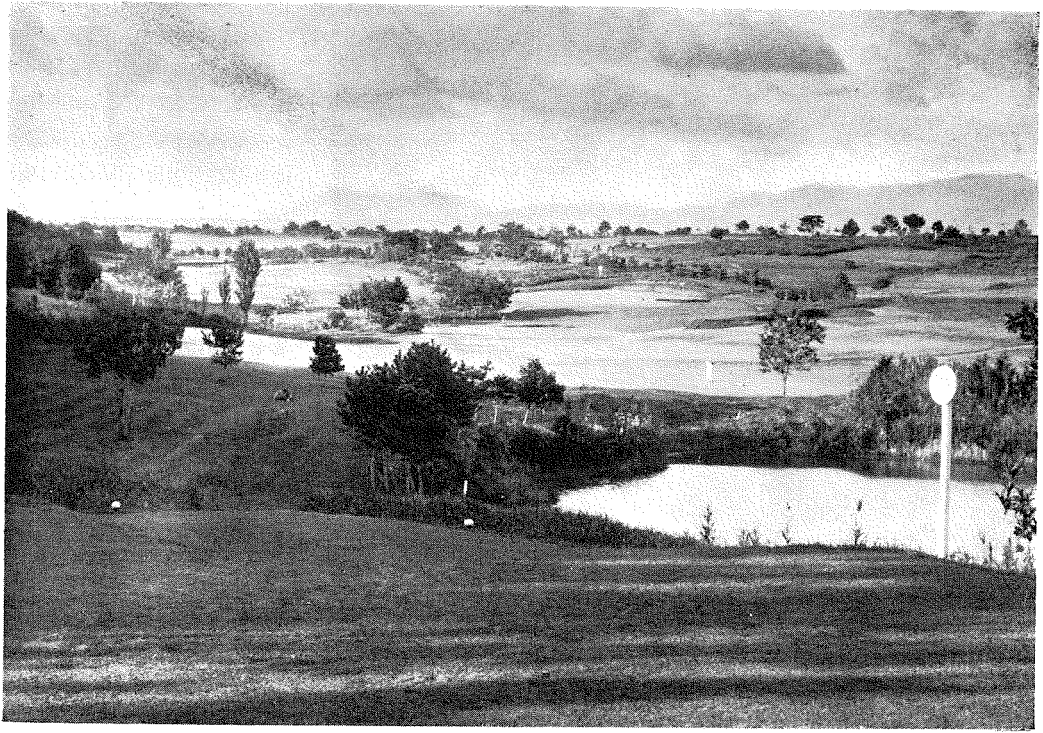
擔任技師

岩崎憲吾
河西定雄
岡林幸明
石田啓次郎



8. 諫早町眼鏡橋
(沿線名所其二)

諫早驛の南方約2杆に在り天保八年本明川に架したる延長約45米幅約6米の總石橋にして2連のアーチを有す本邦橋梁史上貴重なる價値を有するものにして目下國寶に申請中である。



9、諫早ゴルフ場

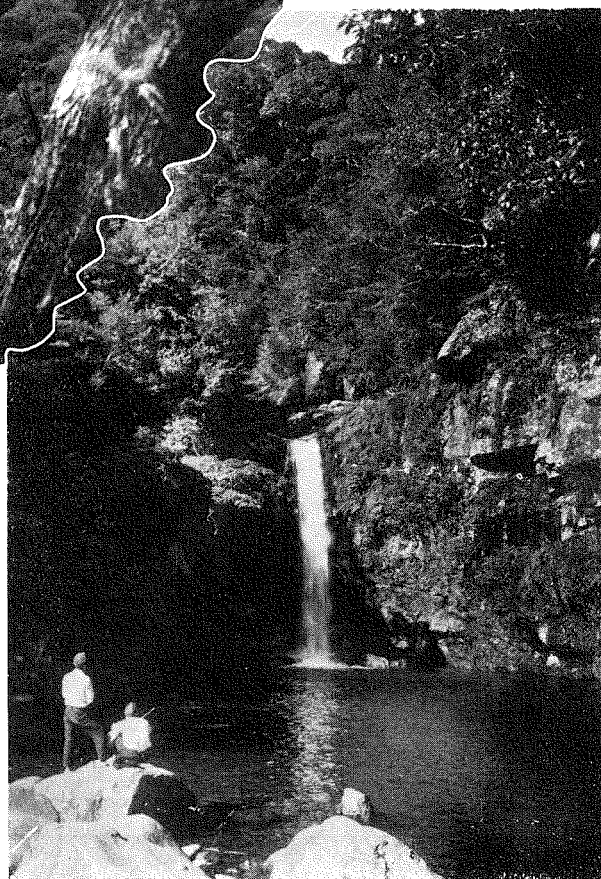
(沿線名所其三)

諫早驛の南方約1軒に在り、昭和三年四月三日の開場にしてグリーン並にフェアウェイの完美は九州第一と稱せられ、雲仙の秀峰及多良嶽靈容を仰ぎ有明海の碧波を眼下に眺望す。現在このゴルフ場のコースは9ホール100坪に及ぶ諫早驛より徒歩約10分、自動車は僅か4分にして達し、交通至便の點に至つては内外ゴルフ場に其比を見ないと稱はれる。



10、多良嶽揚柳の瀧附近の絶勝

湯江驛の北方約6軒に在り轟の瀧は總稱にして大小80有餘の飛瀑溪谷に連続し、壯觀極りなし。主瀧は20米餘の轟の瀧にして、潜龍の瀧、揚柳の瀧、大龍の瀧等最も顯る。附近は樹林の風致頗る明媚、春は石楠花と躑躅に飾られ、初夏は新緑燃るが如く河鹿の聲溪谷を埋め、秋は満山錦繡と化し、冬は壯麗なる霧氷の奇觀あり、深淵の大瀧壺は夏の遊泳娛樂場である。



11、多良嶽轟の瀧(下) (沿線名所其四)